

笑顔で老後を過ごすために……

お年寄りには「頭ではわかっているけど、体が言うことを聞かない」「自分の動きが遅いことを、若い人はうとましく思っているのでは」「家族に迷惑はかかっていないか」と言ったような、自分の体力

の衰えに対する不安や不満、そして劣等感をつねに抱えています。そう言った悩みやストレスを解消する場が今までは家庭であり、家族が相談相手になっていました。

デイサービスの利用者に話を聞いてみたところ「ここは話し相手がいるからとても楽しい。こういった施設が出来て、とてもありがたい」「家族に負担をかけるために来ている」「こんなによくしてもらって申し訳ない。大変満足している」と言っていたように、デイサービスを利用していることに対して、それぞれ考え方が違っていることがわかりました。

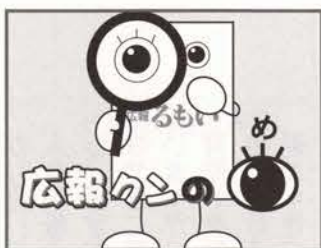
サービスは「誰かから言われて仕方なく利用している」と思っている人は、決して楽しむことは出来ないでしょう。「自らが楽しむためにサービスを利用する」。そのことが一番重要だと、この体験取材で感じました。

最後に、取材に協力していただいたデイサービスセンターのスタッフと利用者の方々に、お礼を言いたいと思います。有難うございました。

特集 老後が、変わる。



家族の工夫と協力は、介護にとって、とても重要なことなんだね。それでボク思ったんだ。介護は自分がしなければならぬこと、家族がしなければならぬこと、地域がしなければならぬこと、そして社会がしなければならぬことがあって、それぞれが自分たちの役割を考え、正しく理解して、行動しなければならぬんだって。なににせよ介護、そして介護保険制度はまだまだ始まったばかり。みなさんは、今回の特集を読んで、どのように感じましたか……。



今回訪れた利用者のなかに、車椅子を利用している人がいたんだけど、その家では玄関の段差に板をしい

というわけで、2日間にわたって介護する側として体験取材を試してみましたが、今回の体験取材で最も印象に残ったことは、「ここを利用しているお年寄り、そしてそこで働いている職員の表情がとても生き生きといたこと」でした。レクリエーションや趣味活動などを楽しむお年寄り、世間話に花を咲かせ、楽しそうに笑っているお年寄りたちを見ていると「歳をとるのも悪くないな」と思いました。

体験して初めて知ったこと

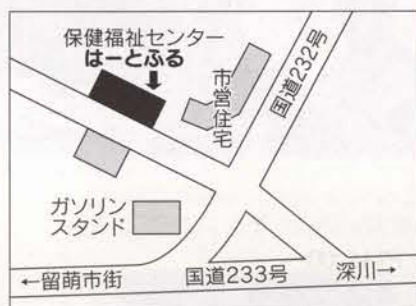
また、帰宅時のこと、あるお年寄りがバスに乗り込む際、「自分の家で降りずに、このバスに乗ったままでいたら、またここに帰ってこられる」と言ったら、職員の手を握り締めて放さない、という場面がありました。

わたしはこれを見て、このデイサービスセンターが利用者にとって「無くてはならないもの」になっている「ことを思い知らされました。」



市内のデイサービス事業所

デイサービスセンターはーとふる



留萌市五十嵐町1丁目1番10号
☎(0164)49-5022

指定介護事業所萌寿園



留萌市沖見町6丁目11-6
☎(0164)43-3722

■ デイサービスの利用料金 4時間～6時間の場合

	要支援	要介護1～2	要介護3～5
基本単価	4,740円	5,470円	7,340円
機能訓練配置加算	270円	270円	270円
食事提供加算	390円	390円	390円
送迎加算(往復)	880円	880円	880円
入浴介助加算	390円	390円	
特別入浴介助加算			600円
利用料合計	6,670円	7,400円	9,480円
利用者一括負担分	667円	740円	948円

※ その他に、サービスによって料金が加算されます。